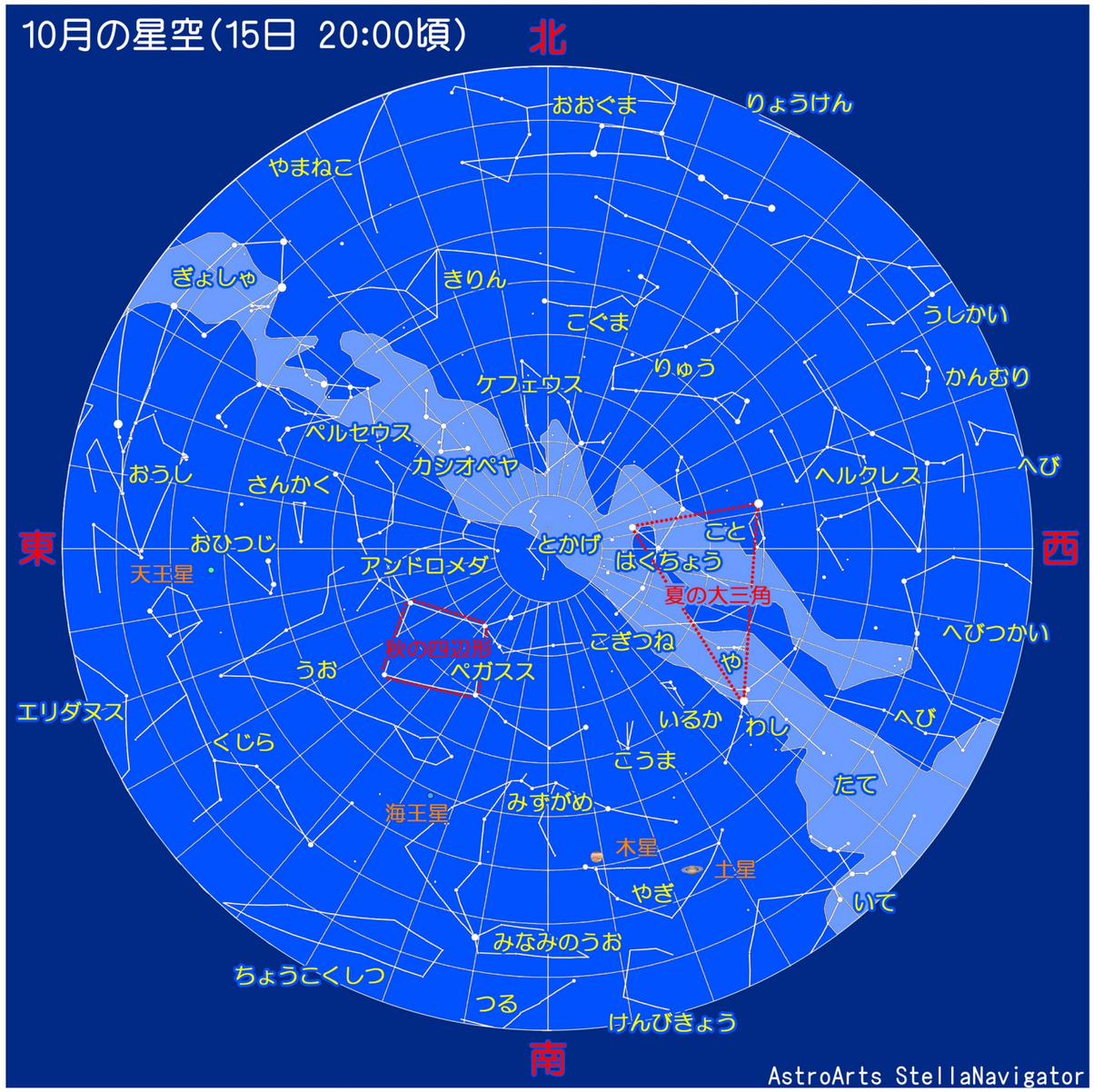
銀河の森天文台
2021年10月みどころ天体情報



月

		出	没
6日	● 新月	04:38	17:11
13日	◐ 上弦	13:15	22:06
20日	○ 満月	16:36	04:57
29日	◑ 下弦	22:40	13:23

天文台から月を見ることができるのは8～24日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

木星・土星

人気の木星と土星が、ともにやぎ座で見頃となっています。両惑星とも、今年の見頃はそろそろ終わりを迎えます。縞模様が特徴の木星と、不思議な環が特徴の土星を楽しみましょう。

太陽からの距離
木星：約 7億8000万km
土星：約14億3000万km

海王星

太陽系で一番外側を周る惑星、海王星が見えてきました。遠く離れているためにあまり大きくは見えませんが、直径は地球の約4倍もあります。淡い青色に見えるのが印象的です。

太陽からの距離：約45億km

M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。アイヌ語ではこの星団を「トランネ・ノチウ（怠け星）」と呼びます。

距離：約410光年

M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

M76（惑星状星雲）

M27「あれい状星雲」を小さくしたような形に見えることから、「小あれい星雲」と呼ばれています。

NGCカタログでは2つの明るい部分のうち、北側がNGC651、南側がNGC650と二つの番号がつけられています。

距離：約2000～6000光年

ガーネットスター（恒星）

ケフェウス座に位置する恒星で、非常に赤い色であることから、ウィリアム・ハーシェルによりガーネットスターと名付けられました。寿命を終えようとしている、赤色超巨星のひとつです。

距離：約5260光年

ちょっとマニア

・NGC185（銀河）

NGC185は、カシオペヤ座に位置していますが、アンドロメダ銀河の伴銀河の1つです。アンドロメダ銀河から離れて見えているために、あまり伴銀河に感じないかもしれません。

距離：約206万光年

その他おすすめ

- M2（球状星団）
- M27（惑星状星雲）
- M57（惑星状星雲）
- h-χ（散開星団）
- M71（球状星団）
- NGC7662（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- アキルド（重星）
- アルマク（重星）

今月のイチオシ！

☆M31（銀河）

天の川銀河と同じ局部銀河群に属し、まさにおとなりとも言える銀河です。しかし、おとなりとは言えM31までの距離は230万光年もあります。夜空に見えるM31の広がりは満月を5個並べたほどもあり、肉眼でもちぎれ雲のように淡く光る姿を見ることが出来ます。M31と天の川銀河はお互いに近づいていて、約45億年後には衝突し1つの銀河になると考えられています。

距離：約230万光年

M31

10・11月の銀河の森天文台カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

開館時間
14:00～22:30
（4月～9月）
13:00～21:30
（10月～3月）
休館日